

新型コロナウイルス感染症に関連した人権問題について

健康局 市民局

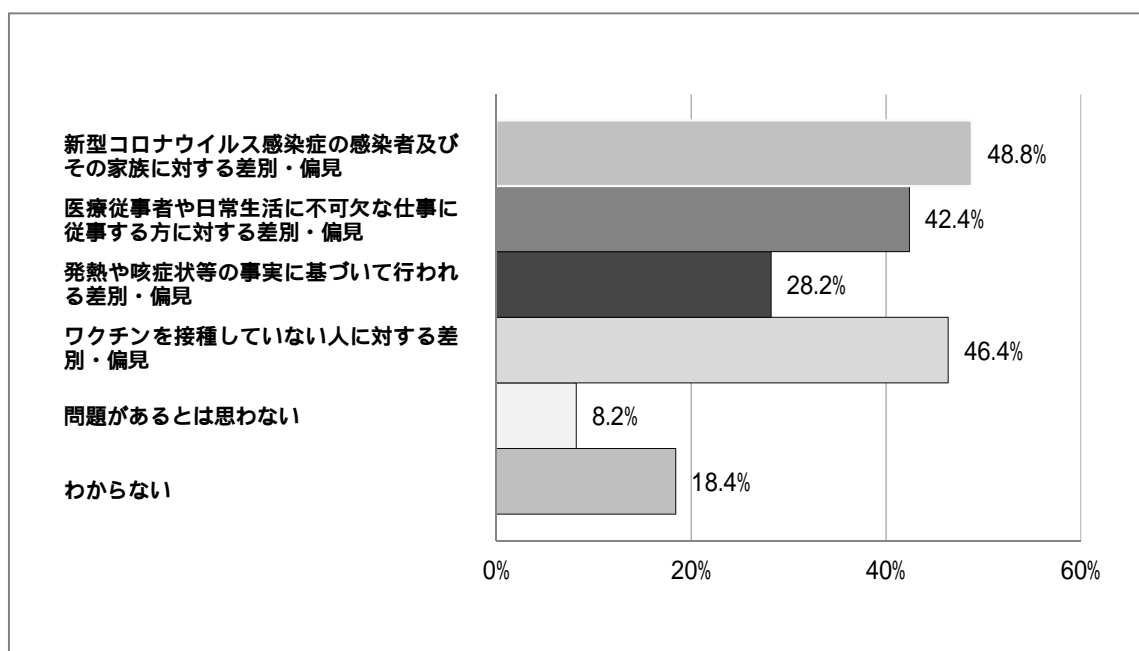
新型コロナウイルス感染症は、令和 2(2020)年から国内でも感染が広がりました。未知のウイルスによる感染症が、人々に大きな恐怖心と不安感をもたらした結果、感染者やその家族、医療従事者や配送業務に従事する方などの懸命に社会生活を支えている方々に対し、誤解や偏見に基づく差別やいじめ等が多く発生しています。

令和 2 年度 人権問題に関する市民意識調査結果

- 新型コロナウイルス感染症に関する人権問題（職場や学校などでの差別、誹謗（ひぼう）中傷など）について、「関心がある」、「少し関心がある」と答えた市民の割合 85.7%
- 新型コロナウイルス感染症に関する人権問題について、学習した（または啓発などを受けた）ことがあると答えた市民の割合 24.5%
- 新型コロナウイルス感染症に関して、人権上問題と思われる言動を受けたり、身近で見聞きしたりした経験があると答えた市民の割合 10.2%

令和 3 年度 民間ネット調査結果

- あなたは、新型コロナウイルス感染症に関する差別や偏見などについて、今後どのようなことに気を付けるべきと思いますか。次の中からあてはまるものをお選びください。（複数回答可）



大阪市の取組み

- 1 ホームページに新型コロナウイルス感染症対策支援情報サイトを立ち上げ、正しい情報の発信に取り組むとともに、さらなる差別やいじめ等が発生しないよう、市長による「STOP！コロナ差別」のメッセージ配信を行うなどの啓発活動を行っています。
- 2 次の相談窓口において、新型コロナウイルス感染症を理由とした差別やいじめを受けられた方の相談をお受けしています。
 - ・新型コロナウイルスに関する一般電話相談窓口（健康局）
 - ・大阪市人権啓発・相談センター（市民局）
 - ・区役所の人権相談窓口（各区役所）
- 3 「シトラスリボンプロジェクト」の趣旨に賛同し、新型コロナウイルス感染症に起因した差別やいじめを許さない意思表示として、職場でのリボンの作成・着用、チラシの掲示などに関し、全庁的に取り組んでいます。（別紙資料参照）

シトラスリボンプロジェクトについて

コロナ禍で生まれた差別、偏見を耳にした愛媛の有志がつくったプロジェクトです。愛媛特産の柑橘にちなみ、シトラス色のリボンや専用ロゴを身につけて、「ただいま」「おかえり」の気持ちを表す活動を広めています。リボンやロゴで表現する3つの輪は、地域と家庭と職場（もしくは学校）を表しています。

なお、人権啓発・相談センターの取組みの詳細は、資料2に掲載。